全世代型の包括支援体制

杵築市全世代支援センター「まるっと」
大分県杵築市社会福祉協議会

地域共生社会に関する取組

高齢者 / 子ども / 若者 / 地域住民
障害者 / 生活困窮者 / 認知症の方 / その他

基礎情報		
	人口（R7.1月時点）	26,153人
	高齢化率（R7.1月時点）	39.5%
	要介護認定率（R7.1月時点）	16.3%
	取組の予算規模（年間）	-

詳細はHPから

https://kitsukishakyo.jp/pages/48/

取組概要

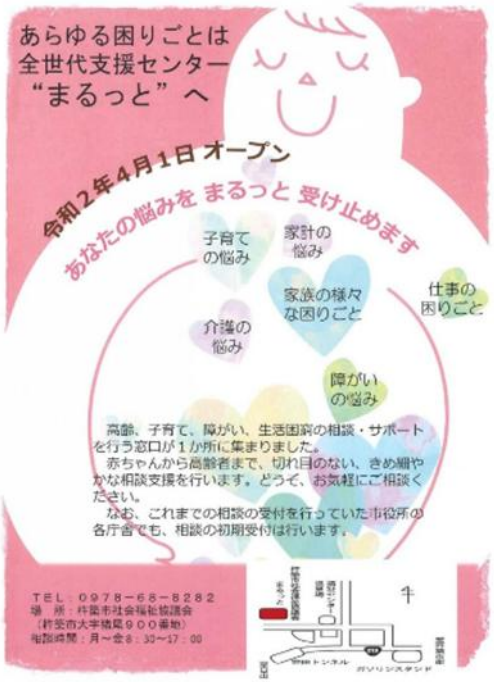
- 杵築市社会福祉協議会は、日常生活自立支援や居宅介護支援、訪問介護支援事業などを実施する中で、令和2年に新たに支援センター「まるっと」を開設し、市民の抱える介護や子育て、障がい、困窮の悩みなどに対して、幅広く連携して対応できるように、これまで複数に分かれていた相談窓口を一本化。
- 世帯が抱える複数の困りごとを一括して、まるっと（まるごと）受け止め、より早く効果的な支援につなげられるように、専門職員が対応し、相談者に寄り添いながら、生活の安定に向けたその解消や解決につなげられる支援を行っている。

背景・きっかけ

- 地域共生社会の実現に向け必要な包括的相談支援体制と地域での支えあいづくりを強化するため、取り組みを開始。

取組の経緯

- 杵築市では2025年問題を解決するため「地域包括ケアシステム」の構築に努め一定の成果を収めた。
- しかし、急速な人口減少による人手不足により構築したシステムを維持できなくなる可能性への対応と、高齢者以外の全世代に対応する地域共生社会の取組を行う必要が生じた。



全世代支援センター「まるっと」のポスター

全世代支援センター「まるっと」
大分県杵築市

取組詳細

- **取組内容**
  - ✓ 世帯が抱える複数の困りごとを一括して受け止め、より早く効果的な支援につなげられるように、専門職員が対応。生活の安定に向けたその解消や解決につなげられるよう支援している。
  - ✓ その他の取組詳細：参考資料を参照。
- **実施体制**
  - ✓ 主体：杵築市社会福祉協議会
  - ✓ 連携先：住民自治協議会、民生委員、医療機関、介護事業所、障害事業所、子ども家庭センター、教育委員会、学校、保育園 等
- **財源**
  - ✓ 重層的支援体制整備事業：R4年～

成果

- 定量面：
  - 就労支援（参加支援事業）　R5年度参加者　実人数37人（延べ436人）
  - 就労型デイサービス（参加支援事業）　R5年度参加者　実人数27人（延べ161人）等
- 定性面：
  - 全世代包括支援センターが市民に認識され支援を必要とする対象者の早期発見につながっている。
  - 地域によっては有償ボランティア組織が形成されるなど支えあいづくりの体制が整備されつつある。

今後の展望

- 次年度以降も継続して取組を実施。具体的には、以下に注力。
  - 重層的支援体制整備における役割、生活困窮者自立支援事業を柱とした重層事業の制度設計、災害時の被災者支援と重層事業の連携、身寄りのない高齢者等が抱える生活上の課題への支援（身元保証・日常生活支援・死後事務等）、権利擁護支援の地域連携ネットワークのコーディネートを担う中核的な機関・体制づくり、社会福祉法人・社会福祉連携推進法人の役割や経営の協働化・大規模化　等

取組のポイント

- **総合計画の作成（計画の一本化）**
  地域福祉計画をはじめ各種計画を一本化した総合計画を作成し、市の方針を見える化（デザイン）するとともに、受託機関である社会福祉協議会の機能強化に取り組んだ。



就労支援



子ども宅食つばさ便